

インドの製造業は今後どうなるか

大阪大学理工学図書館 TA 講習会
精密科学・応用物理学専攻 修士2年 道上久也

・インドの今の製造業について

インドは、IT に強いと言われていています。これは、インドのカースト制度という習慣が深く影響しています。カースト制度というのは、簡単にいうと「ヒンドゥー教における身分制度」(wikipedia「[カースト](#)」参照)であり、職業を生まれながらに規定する制度です。ですが、IT という産業は、ここ 10 年ほどで大きくなった産業で、カースト制度の中に規定されていません。そして IT はカーストに属さない誰でも就くことができる職業となったのです。そこで、カースト制度の中で身分の低い優秀な人が IT 技術者となり、インドは IT 大国となったと言われていています。(東洋経済 online「[「IT 系インド人最強説」の気になるその後](#)」参照)

・インドのカースト制度について

カースト制度は、1950 年に制定されたインド憲法により禁止されていますが、実際は大きな影響力があります。(国際報道 2016 特集「[学生自殺の波紋 カースト制度に苦しむインド](#)」参照) カースト制度は紀元前 13 世紀から大枠ができたと言われており、古い歴史があります(wikipedia「[カースト](#)」参照)。紀元前 13 世紀というと、日本はまだ新石器時代であり、本当に昔からあるんだなと実感できます。それゆえに、カースト制度をインド社会から無くすことは容易ではありません。

・インドの製造業の今後について

インドは 12 億 5200 万人という人口をかかえた国であり、中国の 13 億 8600 万人に肉薄していますが、国内総生産 GDP は中国に大きく離されています。2012 年データでは、中国の GDP は 7.94 兆ドルであるのに対して、インドの GDP は 1.5 兆ドルと大きく離されています([世界の統計 2014](#) 参照)。そこで、インドのモディ首相は、モディノミクスという経済成長策を打ち出しています。その内容は、「海外からの投資促進」、「高速鉄道等のインフラ整備」、「製造業や観光業を中心とした雇用拡大」の三本柱であります(一般社団法人みらい研「[モディノミクスと日印関係](#)」参照)。この三つは、すべて製造業に関連したものであり、インドが製造業に今後力を入れていくということがわかります。高速鉄道や、インドへの投資という分野では、日本のメーカーもインドとの関わりが今後大きくなると考えられます。(東洋経済 online「[日本はこうして「インド新幹線」を勝ち取った](#)」参照) また、インドのカースト制度の影響はまだ大きいとはいえ、その縛りは特に都市部では緩和されているとも言われており、将来的には IT だけでなく、すべての職業に誰でも就ける時代が来るかもしれません。(テックウェーブ「[カースト制度はインド都市部で急速に崩壊中](#)」参照) そうなれば、インドの製造業はますます発展していくかもしれません。

※参照はすべて 2016 年 8 月 3 日